

(仮称) 小山スマートインターチェンジ地区協議会
協議会設立趣旨書

小山町は、静岡県北東端に位置し、神奈川県と山梨県に接する東西に長い形をしており富士山を有する人口約2万人の町である。

小山町では、首都圏から約100km圏内という近い位置にあり企業の工場進出が進んでいるとともに、富士スピードウェイや富士霊園などの観光資源も豊富な地域で、町内には現東名高速道路のほか、東京と静岡を結ぶ国道246号及び富士五湖方面とを連絡する東富士五湖道路、国道138号が通過している。

現在、小山町では、高速道路インターチェンジが設置されておらず、新東名高速道路へのスマートインターチェンジの設置は、交通の利便性の向上による地域産業の活性化及び観光振興等に大きく寄与するものと期待できる。

また、記憶に新しい平成22年9月の台風に伴う甚大な被害や昨今、騒がれている富士山噴火などからも、スマートインターチェンジの設置は救急・救命活動や災害復旧時の物資輸送など、高速道路の活用を考える上でもスマートインターチェンジへの期待は大きい。

以上を踏まえ、(仮称) 小山PAへのスマートIC導入を実現するため、「スマートインターチェンジ(スマートIC) [高速道路利便増進事業] 制度実施要綱(案)」第5条の2に基づき、「(仮称) 小山スマートIC地区協議会」を設立するものである。